



干潟小だより

第9号
R5.12.1
児童数：271名

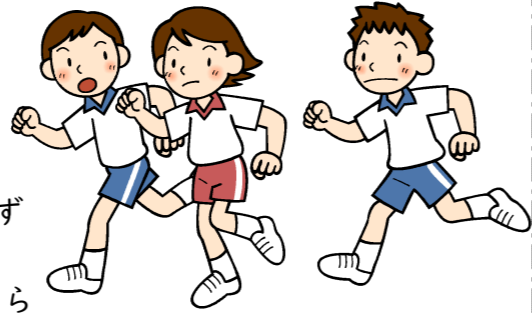
校訓 拓き 輝き 高め合う 干潟っ子
学校教育目標 考える頭 元気な心 強い体

いよいよ師走！本格的な冬の到来

2023年も残すところ1か月となりました。朝夕の冷え込みも厳しくなってきましたが、子どもたちはマラソン大会に向けて、寒さに負けず練習に取り組んでいます。

一方、インフルエンザの流行は、11月中旬頃から落ち着きを見せていますが、今シーズンは流行の到来が早かったことから、引き続き感染予防に努めていかなくてはなりません。

冬休みを迎えるにあたり、インフルエンザだけではなく他の感染症も含め、その予防に対して、できること・やるべきことを学校・ご家庭・地域が協力して実施し、子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるようにしたいと願っています。



人権教室開催

11月8日（水）に4年生を対象とした『人権教室』を開催しました。人権擁護委員の方々をお招きし、人権を守る・大切にすることを学ばせていただきました。自分の名前の由来から、自分もみんなも大切な存在であることについて、真剣に考えることができました。

国連では、「世界人権宣言」が採択された12月10日を「人権デー」としています。日本においても「人権デー」の前1週間（12月4日～10日）を「人権週間」と定めています。「人権週間」「人権デー」は、人権を大切にする考え方を広める活動を展開することが目的です。

学校での人権教育の取組は、全教育活動を通じて実施しています。教職員も人権に関する研修、いじめ防止、虐待防止等の研修を行い、自らの人権感覚・人権意識を高めています。しかしながら、学校だけでなく、大人全ての人々が子どもたちの人権を守り、人権を大切にできるモデルとなる必要があります。ご家庭でもこの機会に是非、お子さんの人権を大切にしているか、大人がモデルになっているか、人権についてお子さんと一緒に考えてみてはいかがでしょうか。よろしくお願いいたします。



干潟っこニュース

学べる粒すけの授業

10月31日、5年生を対象に千葉県農林水産部流通販売課の主催で出前授業が行われました。「粒すけ」は千葉県が13年かけて開発したお米で、現在、学校給食でも提供されています。JAちばみどりの方の講話の後、各班に別れてお米を炊飯し、その様子を観察しました。炊き上がったご飯は、おにぎりにして、給食と一緒に美味しくいただきました。楽しく学ぶことができました。JAちばみどり様からは、全校児童にノートのプレゼントを頂きました。また、この授業の様子は、千葉日報や東京新聞などのメディアに取り上げられました。



5年 校外学習

11月20日、5年生が「茨城県栽培漁業センター」と「鹿島港」へ校外学習に出かけました。栽培漁業センターでは、鮑やウニ、ヒラメなどの「つくり育てる」漁業について見学しました。鹿島港では、遊覧船に乗って製鉄所や石油タンク等の工場群の様子を見て学ぶことができました。この後、社会科の学習でまとめていく予定です。



沖縄交流事業

旭市の沖縄交流事業の一つとして、11月10日（金）、沖縄県中城村の3つの小学校（中城小・津覇小・中城南小）の5年生児童18名と先生方、中城村教育委員会の方々を干潟小にお迎えしました。歓迎会では、全校児童が校歌を歌ったり、6年生が合唱を披露したりした他、旭市や干潟小を題材にしたクイズ等で楽しい一時を一緒に過ごすことができました。歓迎会の後は、5年生が旭音頭のサンババージョンの踊り方を教えてあげ、一緒に踊り交流しました。おもてなしの気持ちあふれる会となりました。



4年 地域安全マップづくり

11月13日、4年生が総合的な学習の時間の「地域安全マップづくり」のために、学区のフィールドワークを行いました。各地区方面に分かれて、事前に学習した安全の視点をもって危険な箇所はないか点検しました。子どもたちの活動の見守りにご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

